

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		公民 現代社会			単位数	2
対象学年・組		3学年全クラス	教科担任	MA:木村 MB:木村 AA:木村 AB:木村 CA:木村		
教科書 ・ 副教材		高等学校 改訂版 新現代社会 なし				
1. 目標						
・広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。 ・現代社会の基本的な課題について、主体的に考察し公正に判断するとともに人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民としての必要な知識と態度を育てる。						
2. 学習内容と学習上の留意点						
学期	月	単 元	指導内容・指導目標			予定時数
1 学 期	4	国際社会と日本	ウクライナ問題について			4
	5	戦後の国際情勢	日韓関係、沖縄問題			6
	6	日本の政治	参議院選挙について			8
	7	国会	通常国会の運営			4
	1学期授業時数計					22
2 学 期	9	国会と内閣の関係	国会、内閣それぞれの権限			8
	10	裁判所について	司法権の独立、国民の司法参加			8
	11	地方自治	地方自治の本旨、地方分権の推進			6
	12	国際経済	国際通貨問題			6
	2学期授業時数計					28
3 学 期	1	社会保障	日本の社会保障制度と少子高齢化			3
	2					
	3					
	3学期授業時数計					3
年間授業時数合計						53
3. 評価の観点・方法						
・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。						